

復刻版

THE Y's MEN'S CLUB of TOKYO GREEN

The Service Club Of The YMCA

2023.05



東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内
TEL 03-3615-5565 FAX 5578



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2023.05 >

BULLETIN

2022年7月~2023年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 樋口 順英
会計 柿沼 敬喜
監事 柿沼 敬喜
監査 西澤 紘一
担当主事 柳原みずき

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 主題「輝かそう、あなたの光を」(デンマーク)
同スローガン「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン 「新しい時代と共にエレガントに変化を」(台湾)
東日本区理事 佐藤重良「未来に向けて今すぐ行動しよう」(甲府 21)
関東東部部長 工藤大丈「新規技術(テクノロジー)を縦横に駆使し、効率を重んじる。
すべては、プレミアムな価値と体験を産むために」(東京ベイサイド)
クラブ会長 樋口順英「安全・愉快・安心」(東京グリーン)

5月 子供の心

「心を入れ替えて幼子のようにならなければ天国に入ることはできないであろう」

(マタイによる福音書 18章3節)

: 子供のような純粋な心にならないと天国は見えてこないであろう。

2023年05月 神田川船の会直前例会

日時:2023年05月17日(水) 18:30~20:30

場所:東京 YMCA 東陽町センター

受付:青木 〆、 進行:佐野 〆

開会点鐘 樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 西澤 〆
ゲスト、ビジター紹介 樋口 会長
神田川船の会直前審議 委員長 目黒 〆
6/10神田川船の会開催に向けた具体的な準備作業
(スケジュール、役割分担、安全注意事項など)
各種報告 樋口 会長
YMCA 報告 柳原 主事
ハッピーバースデー 柳原、青木、目黒 各 〆
閉会点鐘 樋口 会長

【例会出席率】 在籍:14名 4月出席率6/12 50%

出席:4月 東京 YMCA 東陽町センター+Zoom
(メン6名、メネット0名) 計6名

【ニコニコ】 ¥132

5月の強調月間、「LT」

▲LT(=Leadership Training)

会員のリーダーシップの開発、向上を目的に行う研修またはこれを推進する事業の名称です。

『ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)のあらゆる分野における継続的なトレーニングと教育により、私たちは、リーダーとして、またクラブメンバーとして、仕事に必要な道具を身につけることができます。私たちは、質の高いミーティング、アクティビティーそして世界中の親睦活動を通じて、常に「身だしなみを整え」、生涯にわたって役立つ新しい知識を身につけ、仕事に臨むことができます。親睦は、YMI のために心を開き、自分の考えを発信するための入口となります。クラブメンバーは謙虚すぎて、本音を言わないこともあります。私たちは、お互いから学ばなければなりません。ぜひ、すべての奇抜なアイデアを自分の箱から出してみてください』。(国際会長メッセージより)



平林寺(新座市)境内の雑木林(国天然記念物)

◆2023年4月 第一例会 報告

日時:2023年4月19日(水) 18:30~20:30

場所:東陽町センター

出席者:青木、柿沼、西澤、柳原、樋口、

ビジター:千葉 YMCA 佐藤 健 様

(千葉市少年自然の家 所長)

▲当クラブは1973年4月8日が設立日であり、今回の例会は、以来51年目のはじまりとなる例会、また柳原新担当主事の初舞台となる記念すべき例会でした。

▲卓話者、千葉 YMCA 佐藤 健 様(写真右)をお招きし「アマチュア天文家の愉しみ」と題しお話をお伺いしました。美しい自然の画像と巧みな話術で、ワイルドで幻想的な世界に魅せられ、実に楽しいひとときでした。



▲卓話の概要

1) 日本天文学における2035年問題とは？

- ・2035年9月2日 AMは、日本関東で皆既日食が見られる日です！
- ・この日を目標にあと12年生き抜こうではありませんか！（水戸、宇都宮、前橋、長野、糸魚川あたりが見どころのようです）

2) 学術研究において生物学、考古学、天文学はアマチュアが活躍できる数少ない分野である。例えば、

- ・生物学:「擬態(ぎたい)」分野の新種発見
- ・考古学:旧石器時代遺跡発掘
- ・天文学:小惑星発見、命名

3) 流星群観測は楽しい。

- ・真冬、真夜中に寝転がり観測中、火球に大興奮！
- ・天体写真撮影の魅力

4) 次回のテーマは、「昆虫採集」か？ 以上、

▲おもなクラブ協議事項

1) 名簿に関する意見交換(アンケート対応)
現状の東日本区名簿の是非につき協議しましたが、下記賛否両論がありました。

- ① 現状どおりの個人情報量の少ない名簿でよい
 - ・世の中電話詐欺事件が多発しているため
 - ・むしろ自宅電話を削除してほしい
 - ・いまどき名簿をつくる時代ではない
- ② 元の個人情報量の名簿にしてほしい
 - ・昔のような名簿でないで連絡しにくい
 - ・住所、生年月日がないと不便なときがある

2) 5月17日(水)第一例会は、「神田川船の会」開催直前特別例会とする。

3) 6月3~4日開催東日本区大会(出席:青木、柿沼、樋口)のプログラムに、「船の会」広告協賛する。

▲報告事項

- 1) 設立50周年記念例会写真集を出席者全員に配布
- 2) 50周年記念例会の会計報告
- 3) 4/13チャリティーゴルフ大会:西本晃子メン出場

◆2023年5月 第二例会 報告

日時:2023年5月10日(水)15:00~16:30

場所:Zoom会議

出席者:青木、柿沼、目黒、西澤、柳原、樋口各メン

▲審議事項

- 1) 6月21日(水)6月第一例会
ゲストスピーカー:池田 麻梨子様(東京 YMCA)
卓題:「バングラディッシュの現状とこれから」
- 2) 7月19日(水)7月キックオフ例会
「51年目のスタート地点にむけて徹底討議」
- 3) 5月11日神田川委員会にて下記実施要領を決定
 - 6月10日(土)第87回「神田川船の会」
 - 6月2日(金)「田園調布学園船上学習」
- 4) ★2024年1月在京ワイズ新年会のホスト役となるので、メンバー全員ご協力お願いいたします。

▲主な行事予定

- 1) 5月20日(土)関東東部「次期クラブ役員研修会」(東陽町)出席予定者;樋口、西澤
- 2) 5月27日(土)「第20回会員大会」(山手)出席予定者;樋口、柳原
- 3) 6月3日(土)~4日(日):東日本区大会(甲府)出席予定者;樋口、柿沼、青木

(樋口 記)

フリテン図書館

「ハヤブサ消防団」

池井戸 潤 著 集英社

売れっ子作家、池井戸潤の最新作。一昔前のオウム真理教をオマージュした新興宗教の反社会性を縦系にソーラーパネル敷設による社会問題を横系に編み込んだミステリー物語である。

東京に住む作家三馬太郎は、亡き父の故郷である信州の山奥にある八百万町ハヤブサ地区に移住を決心した。そこで、消防団に誘われる。そこで田舎の素朴な人間関係にだんだん惹かれてゆく。

当時、その町で原因不明の火事が連続して起こり町民は疑心暗鬼になっていた。太郎の入団式当日、3度目の火事が起こり消防団員として苦いデビューとなった。そこで、作家特有の好奇心から、この事件の解明に乗り出す。

町の問題児であった山原浩信が疑われたが後日水死体で発見された。最近の変わった事情とは、町の空き地をソーラーパネル用に買い占めている業者が居ること、さらに買い占めた土地を聖地にすべく運動している新興宗教教団、オルビス・テラエ騎士団と関係があることなどが分かってくる。

再生エネルギーのメジャーとされる太陽電池の敷設は、地価の安い山間部にも進出してきて、山や畑がソーラーパネル化して景観が損なわれてくることも問題となっていた。オルビス・テラエ騎士団は、宗教活動の範囲を超えて反社会的行動に至ったことで教祖および幹部が逮捕されて一旦消滅したが、教祖に繋がるオルビス十字軍なる宗教団体を作り再起を図っていた。

太郎は、八百万町にも信者が潜んでいることを明らかにしつつ、この町の大尽であった山原家の秘密を解いて行く。田舎のしきたりに苦しむ家族の姿も丁寧に描写している。

この物語の骨格は、当時悪名を馳せたオウム真理教とその後継を名乗るアレーフの関係を想起させる。そして、心の病を抱えている現在の多くの若者がなぜこのような反社会的なカルト宗教に惹かれるのか？を八百万町の人々、特に太郎が属するハヤブサ消防団の人間関係を通して訴えかける。つまり、ミステリーの中に現在の課題が、ちりばめられているのである。

同時にソーラーパネルと言えば、再生エネルギーの本命としてすべての人が歓迎しているわけではないことも触れられている。ある日突然、自宅の隣に無機質なソーラーパネルが設置されて、それまでの景観が全く変わってしまう現実をユーザである都会人は、理解していないと警告している。

太郎の放火犯人を突き止めると言う謎解きプロセスが、田舎の風景の描写と共に読者を離さない。

(西澤 記)



YMCA コーナー

1. 3月21日に行われました東京グリーン設立50周年記念例会では、席上献金のご寄付を賜り、誠にありがとうございました。ご寄付は東陽町コミュニティーセンターでお預かりし、子どもたちのための子ども食堂や日本語支援活動、また高齢者のための歌の広場やニュースポーツ、災害スタディをはじめとする講習会・研修会など、さまざまな地域活動のために大切に用いさせていただきます。本当に有難うございました。
2. 昨年12月から実施した「クリスマス募金」は、会員、賛助会員、教会、関連団体等から総額29,728,000円のご支援をいただきました。寄せられた募金は、国際協力、ウクライナ支援、フレンドシップファンド、障がい児プログラム支援のために用いました。
3. 2023年度より品川区北品川(御殿山トラストタワー内)に「東京YMCAウエルネスガーデン品川御殿山」が新規オープン。プレオープンとして、3月22日からスプリングプログラム(春休みの短期水泳教室)を開始、4月からは200名を超えるメンバーを迎え、幼児から高校生を対象とした水泳クラスが本格的に始動しました。



4. 4月13日に「第32回チャリティーゴルフ大会」がPGM総成ゴルフクラブで開催され、24グループ、87名が参加しました。感染症拡大防止のため、表彰式や懇親会は見送り、別途表彰記念品や参加賞を参加者に贈呈しました。益金約400,000円は、障がい児プログラム支援、フレンドシップファンド、不登校の子ども支援、国際協力募金に用いられます。チャリティーゴルフ実行委員会が準備と運営を担い、多くの企業や個人から協賛をいただきました。
5. 4月15日に、東日本地区YMCA役員会主催「特別公開講演会」が東京YMCA主管でオンラインで開催され、全国18のYMCAから102人が参加しました。寺島実郎氏(一般財団法人日本総合研究所会長・多摩大学学長)より「世界の構造変化と日本の針路-21世紀日本人の心の基軸」と題して講演をいただきました。

(柳原 記)